喜劇王チャップリン（1968）

THE FUNNIEST MAN IN THE WORLD

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 91分
初公開日 1970/09/11
公開情報 ＭＧＭ

【解説】

チャップリンの出生から無名俳優時代、はたまた一躍歴史的大スターに上り詰めるまでの出演・監督作品の数々。２２篇の名作を一作品づつを丁寧に解説してて判りやすい入門編。キーストン時代のことからギャグのひとつひとつ、ライバル俳優、監督とのかかわり合いなど、今でこそ語られる素顔のチャップリン像がさまざまに見え、日本語解説の特集番組といったところだ。時系列的に数々名作を眺めてみると、彼の交友関係、特に女優の関わりかたでテーマとするものの変化があって味深い。「チャップリンの総理大臣」「チャップリンのパン屋」「他人の外套」、女装出演の「男か女か」「両夫婦」「醜女の深情け」「アルコール先生原始時代の巻」「チャップリンの役者」「チャップリンの改悟」「アルコール先生夜どおし転宅」「チャップリンの駆落」「チャップリンの失恋」「三つどもえ事件」「木賃宿」「チャップリンのスケート」「チャップリンの移民」「チャップリンの勇敢」を収録。

【クレジット】

監督	ヴァーノン・Ｐ・ベッカー	Vernon P. Becker
脚本	ヴァーノン・Ｐ・ベッカー	Vernon P. Becker
ナレーション	ダグラス・フェアバンクス・Ｊｒ	Douglas Fairbanks Jr.
出演	チャールズ・チャップリン	Charles Chaplin

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.